

令和7年度 児童養護施設訪問結果について

【聖園(みその)天使園】

日 時：令和7年10月23日(木) 13:30～14:30

場 所：秋田県秋田市「聖園(みその)天使園」

訪問者：東北遊商社会貢献委員会 杉本委員長・宍戸副委員長・佐々木斎委員

今回、秋田県秋田市での海岸清掃に先立ち、秋田市「聖園(みその)天使園」へ組合募金箱から購入した1万円の図書カードを持参して訪問させて頂きました。

当日は、大石園長様から、施設の沿革、現状、問題点などの話を伺ってきました。

現在、施設には、幼稚園児～高校生まで定員50名に対し35名の生徒が入居、入居者数の推移は減少傾向にあるもののここ数年は変わっていないとの事でした。

入所理由としては、ほとんどの児童・生徒が、親によるネグレクト（無視・無関心）や夏休み期間など長期間の面倒を見ることが出来ない親が多い事や、他の問題として退所後の生活の不安定性（借金等）、施設従業員や先生の不足などの現状をお聞きしました。

また、施設内を案内していただき、集会所、勉強室、食堂など生活空間を見学させていただきました。

今後も出来る限り児童養護施設に対する寄付貢献活動を継続していくべきだと感じました。

なお、東北遊商の児童養護施設への寄付貢献活動は18年間継続しており、昨年度は東北34施設へ各5万円の寄付を実施しております。 (杉本委員長)



佐々木斎委員・杉本委員長・大石園長様・宍戸副委員長

【 県南愛児園ドリームハウス 】

日 時 : 令和 7 年 10 月 23 日 (木) 11:00~12:00

場 所 : 秋田県横手市「児童養護施設県南愛児園ドリームハウス」

訪問者 : 東北遊商社会貢献委員会 柳委員・佐々木勝也委員

今回、地域の児童福祉支援の一環として、秋田県横手市にある児童養護施設「県南愛児園ドリームハウス」を訪問いたしました。

当日は、谷口園長様から、施設の理念など様々なお話を伺わせていただきました。

同園では、

1. 子どもたちの幸せと、心豊かで健やかな発達を保証し、自立を支援すること。
2. 家庭的な関わりや環境づくりを心がけること。
3. 一人ひとりの個性を理解し、意思を尊重しながら信頼関係を大切にすること。
4. 各分園では、地域住民の皆様との関わりを通して、家庭的な環境の中で生活体験を積み、社会的自立を促すこと。

を大切に運営されているとのことでした。

現在は、本園・分園を合わせて約 30 名の子どもたちが生活しており、私たちは近隣にある 2ヶ所の分園も案内していただきました。各分園には 6 名ずつの子どもたちが入居しており、生活空間は一般の家庭と変わらない、あるいはそれ以上に整った温かい環境が整備されていました。子どもたちが安心して暮らし、学び、成長できるよう工夫されている様子に深い感銘を受けました。今回の訪問では、東北遊商組合員有志拠出の募金箱から購入した図書カード 1 万円分をお贈りいたしました。少しでも子どもたちの学びや楽しみの一助となれば幸いです。東北遊商社会貢献委員会は、今後も地域社会の一員として、子どもたちの健やかな成長を支援し、温かい交流を続けてまいります。 (佐々木勝也委員)



柳委員・谷口園長様・佐々木勝也委員



施設（本園・分園）

【 陽清学園 】

日 時 : 令和 7 年 10 月 23 日(木) 11:00~12:00

場 所 : 秋田県北秋田市「陽清学園」

訪問者 : 東北遊商社会貢献委員会 大久保委員

今回、秋田市内での清掃活動に先立ち、児童養護施設「陽清学園」を訪問させていただきました。

当日は、村上園長補佐様からは様々なお話を伺い、豊かな自然環境の中、4歳～高校3年生まで36名の幅広い児童が生活し、子供たちへの自立支援も行っており、卒園後のケアとしても自立援助ホームを設けて児童たちの手助けとなっています。

また、組合員有志拠出の募金箱から購入した1万円の図書カードをお贈りしましたが、児童らは読書が好きなので、児童らが希望する図書を聞いたうえで役立てていただけるとのことでした。

今後も、東北遊商社会貢献委員会として様々なボランティア活動を考え実行していくたいと思います。
(大久保委員)



村上園長補佐様・大久保委員